

第2部 被害状況

第1章 総括

この地震では、県西部地区を中心に、大きな揺れが発生し、これによって西部を中心に県内各地で非常に大きな被害が発生した。

人的被害は、重傷者31名、軽傷者110名の計141名である。

住家被害は、全壊391棟、半壊2,472棟、一部損壊13,195棟と多数発生している。原因として、直接地震の揺れにより損壊したもののほか、地盤の液状化により地盤沈下、傾斜などしたものもあった。

そのほか、公共土木施設、農林水産業施設をはじめ、各種施設などに被害が発生した。

また、一部で水道が断水したほか、交通機関、通信等にも混乱が生じた。

この地震による被害の概況は次ページのとおりである。(平成13年6月30日現在)

なお、本書において、特に明示のないものについては、平成13年6月末時点の状況である。

災害名	平成12年鳥取県西部地震			区 分			被 害
				田	流出・埋没冠水	ha	
区的被害	区 分		被 害	畑	流出・埋没冠水	ha	
	死者	人	0	文教施設	箇所	169	
人的被害	行方不明者		人	0	病院	箇所	17
	負傷者	重傷	人	31	道路	箇所	581
		全 壊	棟	391	橋りょう	箇所	20
	世帯		399	河川	箇所	48	
住家被害	半 壊	棟	2,472	港湾	箇所	91	
		世帯	2,562	砂防	箇所	30	
	一部破損	棟	13,195	清掃施設	箇所	6	
		世帯		崖くずれ	箇所	348	
	床上浸水	棟		鉄道不通	箇所	1	
		世帯		被害船舶	隻	5	
	床下浸水	棟		水道	戸	5,744	
		世帯		電話	回線	134	
非住家	公共建物	棟	124	電気	戸	9,277	
		その他	棟	1,839	ガス	戸	71
都道府県災害対策本部	名称	鳥取県災害対策本部		ブロック塀等	箇所	多数	
		設置	10月6日13時30分	空 港	箇所	1	
災害対策本部設置市町村名	米子市、倉吉市、境港市、青谷町、関金町、東伯町、赤碕町、西伯町、会見町、岸本町、日吉津村、淀江町、大山町、名和町、中山町、日南町、日野町、江府町、溝口町	棟		り 災 世 帯 数	世帯	2,729	
		計	19	り 災 者 数	人	8,304	
災害救助法適用市町村	米子市、境港市、西伯町、会見町、日野町、溝口町	棟		火災発生	建物	件	0
		計	6	その他	危険物	件	0
消防職員出動延人数		人	1,406	その他	その他	件	0
消防団員出動延人数		人	2,502	火災発生	公立文教施設	千円	859,605
				火災発生	農林水産業施設	千円	7,318,802
				火災発生	公共土木施設	千円	23,109,070
				火災発生	その他の公共施設	千円	4,633,269
				火災発生	小 計	千円	35,920,746
				火災発生	公共施設被害市町村数	団体	
				火災発生	農産被害	千円	200,811
				火災発生	林産被害	千円	79,661
				火災発生	畜産被害	千円	80,490
				火災発生	水産被害	千円	1,359,258
				火災発生	商工被害	千円	1,819,570
				火災発生	その他	千円	9,631,679
				被害総額	千円	49,092,215	

第2章 人的被害

この地震では、幸いにも死者はなかったが、鳥取県内16市町村で、141名の負傷者が発生した。

市町村別負傷者数

市町村	負傷者数	内 訳	
		重傷者数	軽傷者数
米子市	16	8	8
境港市	86	11	75
倉吉市	1	0	1
大栄町	1	0	1
西伯町	7	2	5
会見町	3	2	1
岸本町	0	0	0
日吉津村	0	0	0
淀江町	1	1	0
大山町	3	2	1
名和町	0	0	0
中山町	0	0	0
日南町	2	0	2
日野町	15	4	11
江府町	2	0	2
溝口町	4	1	3
計	141	31	110

第3章 家屋被害

この地震では、住家の全壊391棟など、県内22市町村で多くの建物に被害が生じた。

市町村別建物被害状況

市町村名	住 家 (棟)			非住家 (棟)	
	全 壊	半 壊	一部破損	公 共	そ の 他
智 頭 町			1		
倉 吉 市			30		1
泊 村			1		
三 朝 町			3	1	
関 金 町			5		
北 条 町			2		
大 栄 町			8		
東 伯 町			5		
米 子 市	102	1,075	5,252	3	314
境 港 市	71	282	1,144		417
西 伯 町	40	392	1,206	2	174
会 見 町	2	43	879	1	70
岸 本 町		10	1,097	12	67
日 吉 津 村	1	12	173	9	8
淀 江 町			357		
大 山 町		1	106		6
名 和 町		1	19		
中 山 町			7		
日 南 町		12	368	16	63
日 野 町	129	441	945	15	506
江 府 町		1	847	43	
溝 口 町	46	202	740	22	212
計	391	2,472	13,195	124	1,839

ただし、火災による被害は発生しなかった。

特徴的な被害については以下のようなものであった。

(1) 液状化の被害

境港市、米子市を中心に液状化が発生、噴砂や地盤流動が生じた。境港の荷揚場も1mあまりの側方流動により地盤沈下、上屋の柱が大きく傾斜するなどの被害を受けた。米子市内の住宅地でも砂、水が噴き出し、基礎下の地盤が陥没したという被害が生じた。住宅団地では、液状化により軽微ながら基礎ごと傾いた住宅も多くあった。

(2) 中山間地の被害

傾斜地や、築後長期間経過している家屋が多く、高齢者率も3割を超えている中山間地域では、屋根土に瓦葺き、土壁、布石基礎、筋交いの無い農家住宅が多く、被害が大きい。また、地域によってはほとんどの住宅で屋根瓦が被害を受けており、外観は無事でも建物内部で柱が折れたり、梁がはずれたりしたものもあった。

これらの地域の大きな特徴として、斜面が多いことから、石垣、擁壁が多くあり、石垣の上に直接基礎が乗っている住宅の中には、住宅は無事でも、地盤崩壊が迫ってきているもの、隣の石垣が崩れて住宅に迫ってきているものがあった。

第4章 事業所などの被害

事業所などの被害は、西部の市町村すべてに及び、特に日野郡においてその被害が目立った。被害額（直接被害）の内訳は次のとおりである。

事業所などの被害内訳表

(単位：件、千円)

市町村	被災事業所数	商工被害			その他の被害額				
		機械装置 関係	商品(製 品)関係	計	建物被害	敷地及び 駐車場	その他	計	
市	米子市	392	356,430	307,440	663,870	713,950	236,850	300,000	1,250,800
	境港市	253	369,060	443,030	812,090	1,599,460	643,180	133,910	2,376,550
	計	645	725,490	750,470	1,475,960	2,313,410	880,030	433,910	3,627,350
西 伯 郡	西伯町	120	0	0	0	0	0	200,000	200,000
	会見町	34	4,550	340	4,890	47,000	0	0	47,000
	岸本町	32	64,830	15,890	80,720	101,500	12,610	0	114,110
	日吉津村	30	29,670	37,690	67,360	250,890	0	0	250,890
	淀江町	12	0	2,000	2,000	7,000	5,000	0	12,000
	大山町	23	3,700	0	3,700	45,100	5,000	0	50,100
	名和町	3	0	20,000	20,000	30,000	0	0	30,000
	中山町	1	0	80	80	0	0	0	0
	計	255	102,750	76,000	178,750	481,490	22,610	200,000	704,100
日 野 郡	日南町	24	3,100	1,530	4,630	13,530	500	0	14,030
	日野町	104	59,520	45,090	104,610	393,970	24,400	0	418,370
	江府町	51	22,900	3,200	26,100	54,500	5,600	0	60,100
	溝口町	43	47,960	2,730	50,690	113,820	2,650	0	116,470
	計	222	133,480	52,550	186,030	575,820	33,150	0	608,970
郡計	477	236,230	128,550	364,780	1,057,310	55,760	200,000	1,313,070	
合計	1,122	961,720	879,020	1,840,740	3,370,720	935,790	633,910	4,940,420	

第5章 公共土木施設被害

地震により、がけ崩れや地盤の液状化、路面の亀裂などが発生し、道路、港湾を始めとする公共土木施設が甚大な被害を受け、最終的な被害は県と市町村を合わせ706箇所、約133億8千万円にのぼった。

これらの被害を、工種別、土木事務所管内別にみると表1-1のとおりであり、米子、根雨土木事務所管内に被害が集中した。

また、工種別、市町村別に見ると表1-2のとおりであり、震源に近い西伯町、日野町、都市部の米子市、境港市を始めとして、県下3市、15町、2村の計20市町村にわたる被害となった。

工種別被害としては、箇所数比で、道路が全体の70.2%を占め、以下、港湾が7.9%、河川が7.2%、下水道が5.6%と続いている。また金額比では、道路が全体の56.1%を占め、以下、港湾が28.5%、河川が3.8%、下水道が3.7%と続いている。

10月6日の地震発生直後から被害調査を行ったが、度重なる余震が発生したことで、被害箇所が増加するとともに被害の程度も大きくなり、被害の把握、整理に苦慮した。

表1-1 公共土木施設等被害状況(県・市町村)所管土木事務所別

(単位:千円)

土木事務所名	工種	河川		砂防		道路		橋梁		急傾斜地		港湾	
		箇所数	金額	箇所数	金額	箇所数	金額	箇所数	金額	箇所数	金額	箇所数	金額
倉吉	県工事	1	28,933			2	27,894						
	市町村工事					3	32,316						
	計	1	28,933			5	60,210						
米子	県工事	15	90,208	16	158,541	86	1,104,134	4	62,957			56	3,818,944
	市町村工事	9	84,999			188	2,050,149	2	37,329				
	計	24	175,207	16	158,541	274	3,154,283	6	100,286			56	3,818,944
根雨	県工事	22	288,422	7	28,476	131	3,324,703	9	115,107	3	137,654		
	市町村工事	4	16,576			86	976,007	3	25,260				
	計	26	304,998	7	28,476	217	4,300,710	12	140,367	3	137,654		
計	県工事	38	407,563	23	187,017	219	4,456,731	13	178,064	3	137,654	56	3,818,944
	市町村工事	13	101,575			277	3,058,472	5	62,589				
	計	51	509,138	23	187,017	496	7,515,203	18	240,653	3	137,654	56	3,818,944

土木事務所名	工種	公園		下水道		街路		公営住宅		計	
		箇所数	金額	箇所数	金額	箇所数	金額	箇所数	金額	箇所数	金額
倉吉	県工事	1	1,829							4	58,656
	市町村工事									3	32,316
	計	1	1,829							7	90,972
米子	県工事	1	3,081					4	57,202	182	5,295,067
	市町村工事	6	319,933	40	501,239	2	18,691	2	49,639	249	3,061,979
	計	7	323,014	40	501,239	2	18,691	6	106,841	431	8,357,046
根雨	県工事							1	1,198	173	3,895,560
	市町村工事							2	21,571	95	1,039,414
	計							3	22,769	268	4,934,974
計	県工事	2	4,910					5	58,400	359	9,249,283
	市町村工事	6	319,933	40	501,239	2	18,691	4	71,210	347	4,133,709
	計	8	324,843	40	501,239	2	18,691	9	129,610	706	13,382,992

※米子土木事務所 港湾施設には、境港管理組合分(35箇所 2,244,400千円)を含む。

表1-2 公共土木施設等被害状況(県工事)

市町村名	工種別	河川		砂防		道路		橋梁		急傾斜地		港湾		公園		下水道		街路		公営住宅		計	
		箇所数	金額	箇所数	金額	箇所数	金額	箇所数	金額	箇所数	金額	箇所数	金額	箇所数	金額	箇所数	金額	箇所数	金額	箇所数	金額	箇所数	金額
都市部	米子市	2	9,314			22	343,003					21	1,574,544	1	3,081					3	52,859	49	1,982,801
	倉吉市					1	2,444															1	2,444
	境港市					3	90,941					35	2,244,400									38	2,335,341
都市部計		2	9,314			26	436,388					56	3,818,944	1	3,081					3	52,859	88	4,320,586
東伯郡	泊村																					2	30,762
	東郷町	1	28,933											1	1,829								
	三朝町																						
	東伯町					1	25,450															1	25,450
	赤碕町																						
東伯郡計		1	28,933			1	25,450							1	1,829							3	56,212
西伯郡	西伯町	12	58,223	14	134,226	33	538,626	3	52,432													62	783,507
	会見町	1	22,671	1	19,957	10	34,644	1	10,525											1	4,343	14	92,140
	岸本町			1	4,358	9	59,554															10	63,912
	日吉津村					1	9,916															1	9,916
	淀江町					1	5,034															1	5,034
	大山町					3	10,248															3	10,248
	名和町					1	2,112															1	2,112
	中山町					3	10,056															3	10,056
	西伯郡計		13	80,894	16	158,541	61	670,190	4	62,957											1	4,343	95
日野郡	日南町	3	21,570			22	238,106	2	8,075													27	267,751
	日野町	11	190,665	5	24,564	59	2,146,689	4	80,961	1	108,739											80	2,551,618
	江府町	2	6,480			16	245,376	2	23,167											1	1,198	21	276,221
	溝口町	6	69,707	2	3,912	34	694,532	1	2,904	2	28,915											45	799,970
	日野郡計		22	288,422	7	28,476	131	3,324,703	9	115,107	3	137,654									1	1,198	173
郡部計		36	398,249	23	187,017	193	4,020,343	13	178,064	3	137,654				1	1,829				2	5,541	271	4,928,697
合計		38	407,563	23	187,017	219	4,456,731	13	178,064	3	137,654	56	3,818,944	2	4,910					5	58,400	359	9,249,283

公共土木施設等被害状況(市町村工事)

市町村名	工種別	河川		砂防		道路		橋梁		急傾斜地		港湾		公園		下水道		街路		公営住宅		計		
		箇所数	金額	箇所数	金額	箇所数	金額	箇所数	金額	箇所数	金額	箇所数	金額	箇所数	金額	箇所数	金額	箇所数	金額	箇所数	金額	箇所数	金額	
都市部	米子市	8	82,215			30	635,092							4	248,225	31	329,034	2	18,691	2	49,639	77	1,362,896	
	倉吉市																							
	境港市					19	394,210							1	65,681	8	170,607					28	630,498	
都市部計		8	82,215			49	1,029,302							5	313,906	39	499,641	2	18,691	2	49,639	105	1,993,394	
東伯郡	泊村					1	25,908															1	25,908	
	東郷町																							
	三朝町					1	1,578															1	1,578	
	東伯町																							
	赤碕町					1	4,830															1	4,830	
東伯郡計						3	32,316															3	32,316	
西伯郡	西伯町					83	809,948	2	37,329					1	6,027	1	1,598					87	854,902	
	会見町	1	2,784			34	133,713															35	136,497	
	岸本町					18	48,830															18	48,830	
	日吉津村					1	13,912															1	13,912	
	淀江町					3	14,444															3	14,444	
	大山町																							
	名和町																							
西伯郡計		1	2,784			139	1,020,847	2	37,329					1	6,027	1	1,598					144	1,068,585	
日野郡	日南町					19	94,071	1	1,454											1	2,054	21	97,579	
	日野町					41	577,529															41	577,529	
	江府町	4	16,576			15	178,743	2	23,806												1	19,517	22	238,642
	溝口町					11	125,664															11	125,664	
日野郡計		4	16,576			86	976,007	3	25,260												2	21,571	95	1,039,414
郡部計		5	19,360			228	2,029,170	5	62,589					1	6,027	1	1,598				2	21,571	242	2,140,315
合計		13	101,575			277	3,058,472	5	62,589					6	319,933	40	501,239	2	18,691	4	71,210	347	4,133,709	

第1節 河 川

河川については、米子、根雨土木事務所管内を中心に、51箇所で見守り崩壊、護岸亀裂の被害があった。被害箇所としては、一級河川日野川水系で法勝寺川、野上川をはじめとした38箇所、米子市内の準用河川の南崎津川で3箇所、その他普通河川で被害があった。

また、河川災害箇所の中で、会見町市山地内の朝鍋川において、河川護岸の崩壊があり、隣接する民家の一部に沈下等の被害が生じた。



会見町市山 朝鍋川の護岸崩壊と民家の沈下

第2節 道路及び橋梁

道路については、米子、根雨土木事務所管内を中心に、496箇所で見守り被害があり、山間部では路面亀裂の他、落石・法面崩壊による被害が多く、沿岸部では路面亀裂の他、液状化現象による被害が多く発生した。橋梁本体については、一部で、落橋（西伯町町道赤谷線原田橋の1橋のみ）、橋座・伸縮装置等の破損が見られたものの、全体として、被害は少なかった。

被害を受けた路線としては、震源周辺の唯一の幹線道路である一般国道180・181号で多くの被害を受け、その代替路となる主要地方道西伯根雨線・日野溝口線も前記2路線に次いで多くの被害を受け、道路種別で、一般国道では94箇所、主要地方道では86箇所、一般県道では52箇所、市町村道では282箇所の被害にのぼった。

第3節 砂防、急傾斜地施設

砂防関係施設については、主に県西部地域を中心に河川の流路を形成するコンクリートブロック積等のヒビ割れ、破損など合計26箇所の災害が発生した。

○各施設被害の状況

砂防施設：ブロック積擁壁の目地のずれ・沈下・崩壊が発生したが、ダム本体の安定や機能に問題なかった。

急傾斜地施設：ブロック積擁壁の目地のずれ・開口・破損が主体で被害は少なく、機能に問題があるものは少なかった。

また、施設災害以外の土砂災害では、日野町下黒坂の地すべり災害、岸本町上細見地区のがけ崩れ、日野町本郷地区の山腹崩壊等の災害が発生し地域住民の一部は避難勧告により一時避難する事態も発生した。

土砂災害発生状況

発生形態		発生件数	人的被害		建物被害			
			死者	負傷者	住家			住家以外
					全壊	半壊	一部損壊	
土石流	日野町	2	0	0	0	0	0	0
地すべり	日野町	3	0	0	0	1	9	0
がけ崩れ	西伯町、米子市、 名和町、溝口町、 日野町、岸本町	13	0	0	0	0	6	0
計		18	0	0	0	1	15	0

第4節 港湾施設

港湾施設については、米子港と重要港湾境港の2つの港湾で被害が発生しており、液状化などにより岸壁、護岸、臨港道路、野積場、緑地等の港湾施設に多くの災害が発生した。

被害の内訳は、米子港で岸壁、物揚場、臨港道路、護岸を中心に21箇所、境港では岸壁、栈橋、臨港道路を中心に35箇所の被害を受けたほか緑地5箇所が被災した。

被害状況としては、岸壁、栈橋、物置場では、施設を構成するL型ブロックなどの沈下や移動により、エプロンの沈下などが発生し、臨港道路では、液状化によるアスファルト舗装の隆起・沈下・亀裂の発生、護岸では、地震による震動と液状化による亀裂や崩壊が発生した。

岸壁のはらみだしや、液状化による地盤の陥没・沈下及び隆起により進入が危険な箇所については、直ちにバリケードによる進入禁止の措置をとるほか、通行不能となった臨港道路の応急復旧措置や噴砂現象により生じた道路、側溝等における堆積土砂の撤去などの応急工事や粉塵対策の散水・路面清掃を実施した。

これらの迅速な応急対策により、境港においては地震発生2日後の10月8日には定期コンテナ船が入港し、何とか荷役作業を行うことができた。

港湾災害は、平成3年（冬期風浪）以来9年ぶりであり、水中部の調査が容易に進まないことと地震による災害が初めての経験であることから、復旧工法等、技術検討に苦慮した。

港湾の被害状況

港湾名	管理者	施設名	件数	被害額(千円)	主な被災施設
米子港	鳥取県	港湾	13	1,207,869	岸壁(-6.0m)、岸壁(-5.0m) 岸壁(-4.5m) 臨港道路ほか
		海岸	8	366,675	彦名地区、安倍地区、内町地区、祇園町地区 護岸
鳥取県計			21	1,574,544	
境港	境港管理組合	港湾	34	2,242,385	昭和北物揚場、臨港道路、マリーナ栈橋ほか
		海岸	1	2,015	昭和南地区東側護岸
		緑地	5	225,350	竹内南地区夢みなと緑地、竹内地区緑地護岸 ほか
管理組合計			40	2,469,750	

※境港管理組合には、島根県側の港湾災害として6件、137,442千円あり。



境港 昭和南-13m岸壁の段差



境港臨海道路の液状化

第5節 都市公園施設・街路関係

公園施設については、海浜部に近い公園において液状化により大きな被害をうけ、中浜緑地公園の石組階段、水鳥公園の建築物をはじめとして、米子市、境港市を中心に県内6公園（8箇所）で被災した。

被害の大きかった公園は海浜部が中心で、地盤の陥没、石組み崩壊をはじめ、施設建築物の亀裂、設備に被害が及んでいる。

地盤の陥没については、園路等に亀裂及び穴があき、そこから土砂混じりの水が噴き上げるという典型的な液状化現象によるものであった。湊山公園の米子城跡の石垣については、崩壊・せり出し等が多数発生した。

建築物の亀裂、設備の破損については、建築物壁面に斜めの亀裂が入り水がしみ出すなど建築物の設備が使えない状態となった。屋外においても、地盤の亀裂、沈下により排水管の寸断等も見られた。

また、建築物を支える基礎部分では地盤が沈下したことにより基礎が浮いて杭がむき出しとなったところもあり、危険な状態であった。

これらの危険区域は立入禁止などの措置をとった。

公園施設被害状況

事業主体	公園名・地区名	査定額(千円)	被災状況
県	東郷湖羽合臨海公園（燕趙園） 東郷町引地	1,829	修景施設 建物ひび割れ 10箇所 外壁ひび割れ 66m
	米子駅前だんだん広場 米子市明治町	3,081	平板ブロック 85㎡
米子市	湊山公園（3箇所） 米子市久米町～西町	186,092	園路舗装 2,993㎡ 広場 1箇所 污水管渠 237m 石組み 444㎡ 等
	米子市水鳥公園 米子市彦名町	62,133	野鳥観察所 トイレ施設 36.5㎡ 浄化槽 1箇所 杭破壊 68本 等
境港市	中浜緑地 境港市小篠津町外	65,681	園路舗装 151m 護岸 337m 親水広場舗装 961㎡
西伯町	西伯カントリーパーク 西伯町能竹	6,027	駐車場舗装 167㎡ 園路舗装 174㎡ 運動施設 5箇所 等
計	6公園（8箇所）	324,843	

街路施設

事業主体	路線名・地区名	査定額(千円)	被害状況
米子市	米子駅境線 米子市弥生町	6,997	自然石舗装等 113㎡
	歩行者専用道路 米子市末広町	11,694	レンガ舗装 360㎡ 木製舗装 57㎡ 等
計	2路線2箇所	18,691	

第6節 下水道施設

公共下水道施設では米子市、境港市及び西伯町で被害を受けた。

被災の状況は、終末処理場においては液状化により周辺地盤の沈下とそれに伴う配管や管廊の破断や場内舗装の破壊が多く、また下水道管渠では、マンホールの浮上やマンホールブロックのずれ、管渠のずれやたわみ等の被災が多かった。

公共下水道施設被害状況

市町村名	施設区分	件数	査定額(千円)	主な被災施設
米子市	処理場・ポンプ場	4	94,077	内浜処理場、青木処理場 皆生処理場、中央ポンプ場
	下水道管渠	26	167,185	後藤第一幹線、食品団地污水管 安倍彦名団地污水管、遮集幹線
	雨水幹線	1	67,772	一番川雨水幹線
	小計	31	329,034	
境港市	処理場	1	35,711	境港市下水道センター
	下水道管渠	6	119,219	竹内団地1号污水幹線 中浜1号污水幹線 境港新都市地区污水管他
	雨水幹線	1	15,677	下ノ川雨水幹線
	小計	8	170,607	
西伯町	下水道管渠	1	1,598	東町地区污水管
合計		40	501,239	

第7節 公営住宅

米子市において、県営住宅3団地、市営住宅2団地に被害があったのを始めとして、県内9団地において被害が発生した。

公営住宅の被害状況

団地名	市町村名	棟数	戸数	主な被害状況
県営永江団地	米子市	22	384	受水槽、外構(舗装、インターロッキング)、上下水道配管、側溝
県営安倍彦名団地	米子市	3	48	外構(舗装、インターロッキング)上下水道配管、側溝
県営内浜団地	米子市	2	32	受水槽、外構(舗装、インターロッキング)上下水道配管、側溝
県営手間第一団地	会見町	5	10	スレート瓦の落下、外壁の亀裂
県営小江尾団地	江府町	3	6	スレート瓦の落下、外壁の亀裂
市営安倍彦名団地	米子市	5	88	外構(舗装、インターロッキング)上下水道配管、側溝
市営五千石団地	米子市	16	75	増築部分との取り合い部分のズレ、スレート瓦の落下
町営こぶし団地	日南町	5	11	屋根の棟瓦のズレ及び落下
町営下榎団地	日野町	4	8	擁壁の崩壊
合計		65	662	

第6章 農林水産業施設等被害

農林水産業被害額は、143億2千5百万円で、昭和62年の台風19号の被害に次ぐ、過去2番目の被害となった。中でも農業被害は70億9千万円と本県農業粗生産額825億3千万円（平成11年）の9パーセントに相当するものとなった。

被害の種類別では、農地・農業用施設（農業用排水路、農道、ため池など）が最大で、64億9千5百万円と、農林水産業被害総額の45%を占めた。

次いで、林業関係が49億8千9百万円、水産関係が22億4千4百万円、農協等施設、農作物、畜産などとなっている。

被害の特徴としては、通常の大雨災害と異なり、農地・森林に亀裂がおびただしく発生したことがあり、大雨、余震等によって林地崩壊、水田漏水など、新たな災害が発生するなどの後遺症が残っている。

地域別に被害状況を見ると、全体で19市町村で被害が発生し、日野地方農林振興局（現在：日野総合事務所農林局）管内が、農林水産業被害額で最も大きな被害となっている。次いで米子地方農林振興局管内、以下倉吉、鳥取地方農林振興局管内の順となっている。

農林水産業被害額の種類別内訳

種類	被害額(千円)	比率(%)
農作物(畜産含む)	201,301	1.4
施設(農協、畜産施設等)	395,463	2.8
農地・農業用施設	6,495,000	45.3
林業	4,989,655	34.8
水産業	2,244,458	15.7
計	14,325,877	100.0

農林水産業関係被害状況

市町村	農作物	畜産	施設	農地等	林業	水産業
気高町			農協施設 1 箇所			
倉吉市	梨10.2ha		農協施設 1 箇所			
東郷町			農協施設 1 箇所			
関金町	梨1.8ha			農地 6 箇所 施設 2 箇所		
東伯町	梨4.6ha		農協施設 4 箇所	農地 8 箇所 施設 3 箇所	林産施設 1 箇所	
赤碕町				農地 3 箇所 施設 4 箇所		漁協施設 1 箇所
米子市	梨、白ねぎ、ダイコン、ニンジン、かんしょ24.2ha		農協施設15箇所	農地38箇所 施設86箇所	林地崩壊 2 箇所	漁港 2 箇所
境港市	白ねぎ、ダイコン、ニンジン、サトイモ10.6ha		農協施設 4 箇所	農地23箇所 施設52箇所		漁港 2 箇所、水産施設、漁船他
西伯町		種豚11頭 豚舎施設 1 件	農協施設 5 箇所 その他 5 箇所	農地39箇所 施設64箇所	林地崩壊34箇所 林道65箇所 林産施設 3 箇所	
会見町	梨3.9ha		農協施設 8 箇所 その他 1 箇所	農地19箇所 施設26箇所	林地崩壊 8 箇所 林道 5 箇所	
岸本町	梨0.5ha		農協施設 4 箇所	農地 2 箇所 施設21箇所	林地崩壊 1 箇所	
日吉津村			その他 1 箇所	施設 5 箇所		
淀江町	梨1.0ha		農協施設 5 箇所	施設 4 箇所		漁港 1 箇所
大山町				施設 1 箇所		
名和町			農協施設 2 箇所		林地崩壊 1 箇所	
日南町			農協施設 7 箇所 その他 3 箇所	農地 8 箇所 施設 8 箇所	林地崩壊16箇所 林道10箇所 作業道 1 箇所 林産施設 1 箇所	
日野町			農協施設13箇所 その他10箇所	農地167箇所 施設56箇所	林地崩壊50箇所 林道44箇所 作業道15箇所	
江府町			農協施設11箇所 その他 8 箇所	農地92箇所 施設47箇所	林地崩壊10箇所 林道 1 箇所 作業道 1 箇所 林産施設 1 箇所	
溝口町	りんご他1.5ha		農協施設 6 箇所 その他 1 箇所	農地179箇所 施設109箇所	林地崩壊30箇所 林道12箇所 作業道 1 箇所	
計	58.4ha	種豚11頭 豚舎施設 1 件	農協施設86箇所 その他29箇所	農地584箇所 施設488箇所	林地崩壊152箇所 林道137箇所 作業道18箇所 林産施設 6 箇所	漁協施設 1 箇所 漁港 5 箇所

第1節 農作物及び畜産関係

農作物関係の被害は、米子市を中心に9市町で発生し、被害面積58.4ヘクタール、被害額2億円に達した。特に、彦名干拓地（米子市）、弓浜干拓地（境港市）では液状化現象（ほ場下からの湧水）による浸水、塩害により大きな被害が発生した。作物別の被害状況は次のとおりであった。

主な作物	面積 (ha)	被害額(千円)	被害市町村	被害状況
梨	23.6	33,548	米子市、会見町、淀江町、岸本町、東伯町、倉吉市、関金町	落果
りんご	1.5	686	溝口町	落果
白ねぎ	10.4	80,080	米子市、境港市	ほ場の液状化による、 浸水、塩害
ダイコン	6.4	28,800	米子市、境港市	
ニンジン	13.3	53,200	米子市、境港市	
かんしょ	1.5	3,600	米子市	
サトイモ	1.7	897	境港市	
	58.4	200,811		

畜産関係では、西伯町（1箇所）で、豚舎が破損し、中にいた種豚11頭が斃死し49万円の被害となった。

区分	数量	被害額(千円)	被害市町村	被害状況
種豚	11頭	490	西伯町	斃死

第2節 施設関係

農業施設の被害は、3億9千5百万円であった。被害の内容は、畜産関係が8千万円で豚舎2棟（延2,466㎡）が変形し、内部が全壊した。農業関係が3億1千5百万円で、選果場、ライスセンター、カントリーエレベーターなど農協共同利用施設等の建物破損、機械破損、小水力発電所の水路破損などの被害があった。

区分	被害箇所数	被害額(千円)	被害市町村	状況
【畜産関係施設】				
養豚施設	1箇所	80,000	西伯町	豚舎の破損
【農業関係施設】				
農協施設	87箇所	217,367	気高町、倉吉市、東郷町、東伯町、米子市、境港市、会見町、西伯町、岸本町、淀江町、名和町、日南町、日野町、江府町、溝口町	建物破損等
その他 (農業用施設・ 活性化施設等)	29箇所	98,096	西伯町、会見町、日吉津村、日南町、日野町、江府町、溝口町	建物破損等
小計	116箇所	315,463		
合計	117箇所	395,463		

第3節 農地・農業用施設関係

農地・農業用施設関係の被害は、14市町村で発生し、田畑の隆起沈下や亀裂崩落など、農地の被害が19億2千8百万円、農道・水路などの農業用施設などの破損が41億9百万円、生活関連施設関係が4億5千8百万円の総額60億3千7百万円にのぼった。

被害の工種別比率をみると、農地・農業用地施設関係のうち、農地が30パーセント、水路が40パーセント、道路が9パーセント、その他（ため池橋梁など）が21パーセントとなっている。特に弓浜・彦名干拓地の被害金額が突出して多く、全体被害額の53パーセントを占めている。

1 農地

被害は、鳥取県西部（米子・日野管内）に集中し、特に米子市（彦名干拓地）、境港市（弓浜干拓地）などは、農地被害だけで、20億円近い甚大なものとなった。

主な被害の状況は次のとおりである。

- (1) 中山間地においては、農地の地表面や畦畔に亀裂が発生し、同時に地面が隆起・沈下した。中には、畦畔が崩落するに至った被害の大きなものもあった。また、農地畦畔にあった空石積が、地震により崩落した。
- (2) 主に彦名干拓地・弓浜干拓地において、シルト（細粒土）と水分を噴き出して沈下・陥没する液状化現象が発生し、作付け前の畑地に大きな被害を与えた。

2 農業用施設

被害は、農道、水路を中心に、鳥取県西部（特に震度の大きかった米子市、境港市、西伯町、会見町、日吉津村、日野町、溝口町など）を中心に発生した。

被害の大きな市町村は、米子市は、水路44箇所9億39百万円、ため池2箇所1億62百万円など、計12億6百万円、境港市が、水路26箇所9億62百万円、ため池1億9千万円など、計11億98百万円などであった。

主な被害の状況は以下のとおりである。

- (1) コンクリート構造物に亀裂が発生、または崩落・転倒し、その機能・効用を失った。
- (2) 道路、水路が隆起・陥没し、昇り勾配・下り勾配が逆転するなどの異常が発生した。
- (3) ため池、集落排水施設において、底樋や斜樋、埋設管が破砕し、漏水が発生した。

農地・農業用施設の被害について

区 分		被害箇所	被害額(千円)	被害市町村	状 況	
農地・ 農業用 施設	農 地	584箇所 130.9ha	1,928,000	関金町、東伯町、赤碕町 (県中部3町) 米子市、境港市、西伯町、会見町、 岸本町、日南町、日野町、江府町、 溝口町 (県西部9市町村)	亀裂、 隆起陥没、 崩壊等	
	農業用 施設	ため池	57箇所	4,109,000	関金町、東伯町、赤碕町 (県中部3町) 米子市、境港市、西伯町、会見町、 岸本町、日吉津村、淀江町、日南町 日野町、江府町、溝口町 (県西部11市町村)	亀裂、 崩壊、 転倒、 隆起沈下等
		頭首工	3箇所			
		水路	204箇所			
揚水機 道 路	4箇所 196箇所					
	橋りょう	7箇所				
	小 計	471箇所	4,109,000			
	計	1,055箇所	6,037,000	11市町村		
生活関連施設 (集排、農村 公園等)		17箇所	458,000	米子市、西伯町、会見町、淀江町 日南町、日野町、溝口町 (県西部7市町)	勾配異常、 亀裂、 破碎等	

特に被害の大きかった彦名・弓浜干拓地は、農地と農道の隆起陥没が激しく車で走行できない状態になり、水路（柵渠）は大部分倒壊し、瓦礫が水路を塞いだため水が流れなくなった。

このような農地・水路被害に対応して、たばこの作付け準備をするため農地の隆起沈下・暗渠排水管の復旧、水路の瓦礫の除去等の応急工事が実施された。

第4節 林業関係

林業関係の被害は、林地崩壊42億2千9百万円、林道施設6億5千5百万円、林産関係施設7千9百万円、作業道2千5百万円、計49億8千9百万円であった。

区分	被害箇所数	被害額(千円)	被害市町村	被害状況
林地崩壊	152箇所	4,229,390	米子市、西伯町、会見町、岸本町、名和町、日南町、日野町、江府町、溝口町	斜面崩壊等
施設	林道	137箇所	西伯町、会見町、日南町、日野町、江府町、溝口町	地割れ、路側崩壊等
	作業道	18箇所	日南町、日野町、江府町、溝口町	地割れ、路肩崩壊等
	林産施設	6箇所	東伯町、西伯町、日南町、江府町	施設破損等
	小計	161箇所	760,265	
合計	313箇所	4,989,655		

1 治山

被害は、152箇所、42億2千9百万円に及び、日野郡内106箇所、西伯郡内44箇所、米子市2箇所であった。その中でも、日野町が箇所数で全体の約3分の1を占め(50箇所 1,756百万円)、次に西伯町(34箇所 578百万円)、溝口町(30箇所 1,276百万円))となっている。

被害の内容は、斜面や崖における土砂の崩落、岩塊の落下が多発した。さらに、地震後の降雨により、崩壊の拡大、緩んだ地盤の新たな崩落が発生し、土石流となった地区もあった。

地震による山崩れは、揺れが集中する尾根筋や崖端の凸状の地形に多発した。これは、山間部の地震であり、脆弱な土質、急崖の岩場が広く分布していたため、被害箇所も増大したと考えられる。

2 林道

林道災害は、特に震源地に近い西伯町の鎌倉山線(39箇所 245百万円)と行者山線(14箇所 159百万円)は延長の4分の1が被災し、林道被害額の6割を占めた。

また、林道の機能を補完する作業道も、法面崩壊、路肩崩壊、路線亀裂等被害を受けた。

被害の主な内容は、路面の地割れが最も多く、壁高7mを越える重力式擁壁が水平に滑動、盛土と地山境界部の地割れ、盛土路肩部の沈下、切土法面上部のみの崩落など、雨の被害では見られない被害が発生した。

第5節 水産業関係

水産業関係施設の被害は、共同利用施設5百万円、市場施設10億3千2百万円、漁港施設4億9千万円の、計15億2千7百万円であった。

このほか、冷蔵庫等の施設被害、及び風評による魚価安による被害は3億7千6百万円であった。

1 共同利用施設

境港市の水産加工排水の処理及び市場排水の処理を行う境港水産加工污水处理場において、機械棟が沈下（約15cm）し、これにより配管が破損したほか、歩廊、汚水ポンプの損傷等の被害を受けた。

施設名称：境港水産加工污水处理場

箇所：境港市昭和町12番地19

復旧額：4,978千円

2 市場施設

県営境港水産物地方卸売市場のすべての上屋施設において、床面の段差、亀裂、側溝の沈下等の被害を受けた。

特に、3号、4号、5号上屋（通称かにかご上屋）で被害が著しく、床面の断裂が60cm、隆起が50cmに達する箇所もあり、一部を立入禁止とした。

そのほかの上屋でも段差等により水産物の陸揚げ、卸売り等の業務に支障を来した。

市場施設の被害状況

施設名	施設規模	被害額(千円)	被害状況
1号上屋	3,290.8㎡	86,839	床面段差、周辺側溝の沈下
2号上屋	3,629㎡	52,396	床面の亀裂、周辺側溝の沈下
3・4・5号上屋	7,302㎡	866,120	支柱の傾斜、床面断裂、周辺側溝の沈下
7号上屋	786㎡	21,242	周辺側溝の沈下、敷地内の亀裂
みさき会館	3,670㎡	5,664	駐車場の陥没、空洞化
計		1,032,261	

上屋床面の断裂状況（3号上屋）



3 冷蔵冷凍施設等

民間業者が所有する冷蔵庫等の施設被害、及び施設被害に伴う生産減、風評による水産物需要減少による魚価安による被害は、20者で3億7千6百万円となった。

4 漁港施設

漁港の被害状況は下表のとおりである。

このうち境漁港では、かにかご岸壁が約120mにわたって湾曲するなど、松葉がにの漁獲期を前に大きな被害を受けた。

漁港の被害状況

漁港名	漁港管理者	被害額	被害状況
境漁港	鳥取県	456,377千円	岸壁819m、臨港道路172m
皆生漁港	米子市	4,064千円	物揚場158m
崎津漁港	米子市	7,407千円	船揚場26m、臨港道路235m
渡漁港	境港市	22,843千円	護岸60m、防波堤70m
計		490,691千円	

境漁港「かにかご岸壁」の被災状況



第7章 水道施設被害

第1節 上水道、簡易水道等

県内の水道施設は、上水道19施設、簡易水道258施設、専用水道32施設、飲料水供給施設90施設、合計399施設である。

この地震では、そのうち、西部地区を中心に9市町の30施設で被害が発生し、水道管の破損などにより2億9千万円の被害があった。

また、断水世帯は5,744世帯（最大時）であった。

上水道、簡易水道等被害状況

区分	被災施設数	被災市町村	断水世帯数	被害箇所数					概算復旧金額 (千円)
				水源地	建物被害	導水管	送水管	配水管	
上水道	4	米子市、境港市、西伯町、岸本町、淀江町	2,166	2	8	2	2	92	213,900
簡易水道	23	西伯町、会見町、岸本町、淀江町、日南町、日野町、江府町、溝口町	3,555	14	4	1	2	40	29,850
飲料水供給施設	3	岸本町、日野町、溝口町	22	4				2	44,150
計	30		5,743	20	12	3	4	134	287,900

市町村別断水世帯数

市町村	断水世帯数
米子市	80
西伯町	2,371
会見町	1,120
淀江町	93
日南町	404
日野町	1,029
江府町	529
溝口町	117
東郷町	1
計	5,744

(注) 東郷町は水道施設被害なし

第2節 工業用水道

県営日野川工業用水道は、米子、境港市及び日吉津村の96事業所に給水を行っているが、鳥取県西部地震により配水管の断裂、継手の離脱等により多数の箇所でも漏水が発生し、境港市竹内団地と昭和町の一部で一時給水不能な状況となった。

日野川工業用水道 漏水被害箇所一覧

漏水箇所	区分	箇所数	給水支障事業所数	復旧日時	備考
境港市竹内団地	配水支管	18	13	9日16:00 4社 10日20:15 8社 12日18:00 1社	(仮復旧)敷設替え要
	水管橋	1		9日11:00	(仮復旧)
境港市 昭和町	配水支管	3	10	7日12:00 5社 8日16:40 5社	
米子市 八幡	配水本管	2	—	送水可能	(仮復旧)敷設替え要
米子市 旗ヶ崎	配水本管	1	—	8日 7:50	
米子市 三旗町	配水支管	1	—	8日16:00	
計		26	23		

第8章 学校施設等被害

第1節 公立学校

公立学校で被害を受けたのは、高等学校20校、中学校27校、小学校76校、養護学校4校、幼稚園4園の合計131校、概算被害金額は8億5314万円であった。なかでも会見小学校では、校舎の柱に多数の亀裂が入り半壊状態となるなど、大きな被害を受け、そのほかの公立学校でも校舎外壁の剥離・亀裂、窓ガラスの破損等の被害があった。この地震による施設の被害及び児童生徒への影響は甚大で、10月7日には県西部を中心に98校が臨時休校の措置をとり、全ての学校で授業を再開したのは10月16日のことであった。

区 分		被 害 状 況		被 害 市 町 村
		施 設 数	被害金額(千円)	
市町村立	幼 稚 園	4	6,180	境港市、日南町
	小 学 校	76	687,285	鳥取市、米子市、倉吉市、境港市、東郷町、関金町、東伯町、赤碕町、西伯町、会見町、岸本町、日吉津村、淀江町、大山町、名和町、日南町、日野町、江府町、溝口町
	中 学 校	27	97,564	米子市、倉吉市、境港市、青谷町、東郷町、関金町、赤碕町、西伯町、会見町、岸本町、淀江町、名和町、大山町、日南町、日野町、江府町、溝口町
	養護学校	1	1,132	米子市
	小 計	108	792,161	
県 立	高等学校	20	57,418	鳥取市、米子市、倉吉市、境港市、青谷町、東伯町、赤碕町、淀江町、日野町
	養護学校	3	3,561	鳥取市、米子市
	小 計	23	60,979	
合 計		131	853,140	

第2節 私立学校

私立学校で被害を受けたのは、私立高等学校・中学校が3校、幼稚園が10園、専修・各種学校が11校であった。被害総額は243,019千円であった。被害は校舎・園舎等に亀裂が入ったものが多かったが、中には地盤の液状化、沈下に伴う陥没があり、被害を大きくした。

児童生徒の被害はなかったが、10月7日は米子市内の高等学校3校が臨時休校の措置をとり、幼稚園についても休園、自由登園の措置をとった園があるなど大きな影響があった。

(単位：千円)

区 分	所在市町村	学校(園)数	被 害 額	補 助 金 額
高等学校・中学校	米子市	3	35,499	17,748
幼 稚 園	米子市	10	116,753	58,373
専修・各種学校	米子市	11	(17,955) 90,767	(5,197) 15,920
計		24	(17,955) 243,019	(5,197) 92,041

(注) () は医療施設等災害復旧費国庫補助金により復旧したもので再掲

第3節 文化財等

文化財等で被害を受けたのは、国指定等14件、県指定7件、市町村指定18件、その他11件、合計50件、うち被害額が判明しているものは17件、概算被害金額は2億2300万円余であった。被害の多くは、外壁の剥離・亀裂、建物の床の変形等であった。

区 分	被害件数	被害額が判明したもの		被 害 市 町 村
		件 数	被害金額(千円)	
国指定等	14	11	211,243	鳥取市、米子市、倉吉市、境港市、淀江町、大山町、日野町
県指定	7	6	12,367	米子市、倉吉市、会見町、日南町、溝口町、日野町
市町村指定	18	—	—	米子市、境港市、智頭町、東伯町、西伯町、会見町、日吉津村、淀江町、日野町、溝口町
そ の 他	11	—	—	西伯町、会見町、淀江町、大山町、日野町
合 計	50	17	223,610	

第9章 病院、社会福祉施設等被害

第1節 社会福祉施設

(1) 県立施設

「知的障害者更生施設 西部やまと園」(西伯町)外7施設、西部健康福祉センター(米子市)外3施設(計12施設)に、壁の亀裂、給排水施設の破損等の被害が生じたが、必要な応急措置を行い、平常どおりの施設運営を行った。

(2) 市町村立・社会福祉法人立施設等

「身体障害者授産施設 米子ワークホーム」(米子市)外43施設、保健衛生施設「老人保健施設おしどり荘」(日野町)外3施設、精神障害者小規模作業所「淀江作業所」(淀江町)等外3施設(計52施設)に、壁・床の亀裂、水道管の破損等の被害が生じたが、必要な応急措置を行い、平常どおりの施設運営を行った。

社会福祉施設等被害額

(単位：千円)

	身体障害者福祉施設		知的障害者福祉施設		老人福祉施設		児童福祉施設		保健衛生施設		精神障害者小規模作業所等		その他施設		計	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額
鳥取市													1	219	1	219
米子市	4	8,975	1	626	1	1,026	19	35,185	1	6,443	1	95	1	11,115	28	63,465
倉吉市			1	145	2	2,557							1	805	4	3,507
境港市			1	420	1	948	1	8,783	1	7,598					4	17,749
東伯町							1	598							1	598
赤碕町							2	2,984							2	2,984
西伯町			3	45,662	1	230									4	45,892
会見町					1	7,701	2	5,389							3	13,090
岸本町							1	1,532							1	1,532
日吉津村							1	1,984							1	1,984
淀江町							3	6,080			1	929			4	7,009
名和町					2	3,383									2	3,383
日南町					1	8,486									1	8,486
日野町							3	8,519	1	17,215	2	1,958	1	1,854	7	29,546
溝口町									1	7,822					1	7,822
計	4	8,975	6	46,853	9	24,331	33	71,054	4	39,078	4	2,982	4	13,993	64	207,266

第2節 病 院

西部地区を中心に、17病院で、壁の亀裂、水道管・窓ガラスの破損等の被害が生じるとともに、3病院（日野、西伯、済生会境港総合病院）の入院患者188名について、鳥取大学附属病院他に受入要請を行い転院の措置をとった。

病院の被害状況

市町村名	病 院 名	被 害 の 状 況
日 野 町	日 野 病 院	受水槽に亀裂、壁の一部タイル崩れなど
西 伯 町	西 伯 病 院	天井水漏れ、外壁、廊下、床等に亀裂など
岸 本 町	大山リハビリテーション病院	建物数カ所に亀裂など
日 南 町	日 南 病 院	外壁、廊下、床等に亀裂など
溝 口 町	溝 口 中 央 病 院	建物数カ所にひび割れなど
米 子 市	鳥取大学医学部附属病院	病棟～第二診療棟の渡り廊下に一部亀裂、壁一部落下
	博 愛 病 院	水道管破裂、外壁、廊下、床等に亀裂など
	米 子 中 海 病 院	廊下、床等に亀裂など
	山 陰 労 災 病 院	壁等に亀裂など
	高 島 病 院	高層棟屋上、外部周りの外壁に亀裂など
	医療法人勤誠会米子病院	水道管破裂、病理棟と病棟及び病棟接続部の亀裂など
	広 江 病 院	柱、壁、床のひび割れなど
	皆 生 温 泉 病 院	貯水槽破損、エレベータ停止、ひび割れなど
境 港 市	鳥取県済生会境港総合病院	旧外来棟、東病棟に亀裂など
	医 療 法 人 元 町 病 院	外来棟、手術室等にひび割れなど
倉 吉 市	谷 口 病 院	建物の一部に亀裂
	信 生 病 院	電気設備停止

第10章 その他公共施設の被害

第1節 社会教育・体育施設等

社会教育・体育施設で被害を受けたのは、市町村立100件、県立4件、合計104件、うち被害額が判明しているものは37件、概算被害金額は1億3600万円余であった。県立武道館や船上山少年自然の家等の施設では、外壁等の剥離や亀裂が見られ、多くの被害を受けた。

また、給食センター、教職員住宅等は、被害件数13件、概算被害金額700万円であった。

区 分		被害状況		被害市町村	
		施設数	被害金額(千円)		
社会教育 ・ 体育施設	市町村立	100	(33施設分) 129,380	米子市、倉吉市、境港市、関金町、大栄町、東伯町、赤碕町、西伯町、会見町、岸本町、日吉津村、淀江町、日南町、日野町、溝口町	
	県立	4	6,741	米子市、赤碕町、西伯町、大山町	
小 計		104	136,121		
そ の 他	市町村立	給食センター	9	6,165	米子市、東郷町、西伯町、会見町、岸本町、淀江町、日野町、江府町、溝口町
		教員住宅	1	300	日南町
	県立	教員住宅	3	480	米子市、境港市
小 計		13	6,945		
合 計		117	143,066		

第2節 廃棄物処理施設

廃棄物処理施設は、米子市・鳥取中部ふるさと広域連合・境港市の3施設が被害にあった。

(単位：千円)

市町村名	被災施設	所在地	被害状況	被害額 (復旧事業費)
米子市	米子市富益団地污水处理場 (コミュニティ・プラント)	米子市大崎2267-5	公共管渠破損 採光ガラス破損	16,804
鳥取中部ふるさと広域連合	ほうきりサイクルセンター (ごみ処理施設)	倉吉市巖城1637-9	焼却炉内壁一部破損	6,596
境港市	境港市浄化センター (し尿処理施設)	境港市小篠津町3632-1	配管の破損、抜け落ち 車道路の陥没、亀裂	3,902
合 計				27,302

第3節 自然公園等

自然公園施設では、東伯町地内の中国自然歩道において吊橋耐風索のアンカー破損、歩道山腹斜面の崩壊、路側石積みの基礎崩壊があった。

また、奥日野県立自然公園となっている日野町地内の滝山公園、塔の峰公園において、歩道の亀裂、石積み崩壊等があった。

自然公園等被害状況

種 別	被災箇所数	被 害 内 容	概算復旧金額
自然公園施設等	2町 (日野町、東伯町)	中国自然歩道3箇所 県立自然公園2箇所	千円 38,000
計			38,000

第4節 県営発電所

西部地区の発電所で落石、陥没、通信ケーブル断線等の被害を受けた。

県営発電所被害状況

発電所名	被 害 状 況	概算復旧金額
新幡郷発電所	旧幡郷水路落石、通信ケーブル断線、沈砂池排水路陥没	千円 6,490
日野川第一発電所	水圧鉄管巡視路陥没損壊、構内陥没、建屋クラック	6,300

第5節 県庁舎

1 日野総合事務所

- (1) 本館（昭和37年建築 RC 3 F 1,397㎡ 機械・電気室を含む）
 - ① 基礎杭、柱、地中梁、外壁及び内壁にクラック
 - ② 1階の床の沈下（最大45mm）
 - ③ 躯体や壁面全体に相当数のクラック、壁モルタルのはく離（機械・電気室）
- (2) 食堂棟（昭和40年建築 RC 2 F 263㎡）

犬走りコンクリート、厨房内壁にクラック
- (3) 車庫棟（昭和37年建築 S平屋 311㎡）

外部鉄骨造、コンクリートブロック部分にクラック
- (4) 会議室棟（平成5年建築 S 2 F 562㎡）

天井仕上げ材の破損、2階の空調設備（送風口）が落下

2 西部総合事務所本館

- (1) 本館（昭和40年建築 RC 4 F 3,436㎡）
 - ① 玄関の柱2本にクラック、タイル破損及び壁にクラック
 - ② 本館屋上の出口部分にクラック及び柱延長部分にクラック6ヶ所
 - ③ 本館2階～4階便所入口部分の壁にクラック

第6節 県営工業団地

鳥取県営各工業団地の被害状況の概要は以下のとおり。

(1) 竹内工業団地

竹内工業団地における企業用地内では、液状化による噴砂や側方流動による被害が生じた。

噴砂現象については、企業用地全体の約9割程度において噴砂による何らかの被害が発生しており、アスファルト舗装を突き破ったもの、未舗装地の土砂から噴砂したものがあり、建物基礎周辺からの噴砂も多数見受けられた。また、噴砂とともにクラックや目地等の開き等が生じている。なお、噴砂がアスファルトを突き破れなかった所は、アスファルトを押し上げる浮き上がりや道路等の波打ちが生じた。

また、液状化による地盤の不同沈下は全体企業用地の約8割程度で見受けられ、建物の変形、建物周辺部との段差、床面の傾斜、排水路の損傷等の被害が発生した。

さらに、主に西側承水路付近については、液状化による側方流動が生じており、承水路に近接する企業用地は最大で2m程度承水路側に移動した。

(2) 昭和工業団地

昭和工業団地では液状化による噴砂による被害が生じた。

噴砂現象については、企業用地全体の約6割程度において噴砂による何らかの被害が発生しており、アスファルト舗装を突き破ったもの、未舗装地の土砂から噴砂したものがあり、建物基礎周辺からの噴砂も多数見受けられた。また、噴砂とともにクラックや目地等の開き等が生じている。なお、噴砂がアスファルトを突き破れなかった所は、アスファルトを押し上げる浮き上がりや道路等の波打ちが生じた。

また、液状化による地盤の不同沈下は全体企業用地の約8割程度で見受けられ、建物の変形、ブロック塀の傾斜、床面の段差等被害が生じた。

液状化による側方流動は、北西側の新港荷揚場の岸壁で生じているが企業用地への影響はほとんどなかった。

(3) 旗ヶ崎工業団地

旗ヶ崎工業団地では液状化による噴砂による被害が生じたが、竹内地区、昭和地区に比べて被害件数は少ない。

噴砂現象については、企業用地全体の約3割程度において噴砂による何らかの被害が発生しており、アスファルト舗装を突き破ったもの、未舗装地の土砂から噴砂したものがあり、建物周辺からの噴砂も見受けられた。また、噴砂とともにクラックや目地等の開き等が生じた。

なお、噴砂がアスファルトを突き破れなかった所は、アスファルトを押し上げる浮き上がりや道路等の波打ちが生じた。

また、液状化による地盤の不同沈下は全体企業用地の約3割程度で見受けられ、建物の変形等の被害が生じた。

(4) 崎津工業団地

崎津工業団地では液状化による噴砂が生じた。同団地は粗造成の段階であることから沈下被害については顕著に現れていないが、全体的にいくらかは沈下しているものと考えられる。

噴砂現象については団地内に点在しているが、他地区に比べ数は少ない。ただし、クラックについては団地内全体に存在しており、中には幅40cm近くのものもあった。

県営工業団地被害調査結果

区 分		宅 地 地 盤 被 害							ブ ロ ッ ク 塀				
		クラック 水平移動	陥 没	沈 下	段 差	隆 起	噴 砂	排水施 設変状	湧 水	クラック	傾斜 倒壊	崩 壊	フェンス 被 害
調査地区	判 定 基 準	大	15cm以上	25cm以上	50cm以上	50cm以上	30cm以上						
	中	3～15cm	15～25cm	20～50cm	20～50cm	10～30cm							
	小	3cm未満	15cm未満	20cm未満	20cm未満	10cm未満							
竹内地区 〔調査事業所 46箇所〕	大	6	1	0	0	0	—	—	—	—	—	—	—
	中	13	3	26	2	14	—	—	—	—	—	—	—
	小	17	2	9	1	1	—	—	—	—	—	—	—
	有	—	—	—	—	—	40	5	4	6	1	0	0
	無	10	40	11	43	31	6	41	42	40	45	46	46
昭和地区 〔調査事業所 101箇所〕	大	0	3	0	0	0	—	—	—	—	—	—	—
	中	26	0	12	0	4	—	—	—	—	—	—	—
	小	41	9	47	12	8	—	—	—	—	—	—	—
	有	—	—	—	—	—	63	26	3	5	19	0	6
	無	34	89	42	89	89	38	75	98	96	82	101	95
旗ヶ崎地区 〔調査事業所 65箇所〕	大	1	4	11	0	0	—	—	—	—	—	—	—
	中	11	1	18	0	2	—	—	—	—	—	—	—
	小	12	7	18	1	1	—	—	—	—	—	—	—
	有	—	—	—	—	—	23	2	0	3	1	0	0
	無	41	53	18	64	62	42	63	65	62	64	65	65

第7節 主要観光施設等

(1) 観光施設

県内の観光施設も弓ヶ浜半島及び日野郡を中心に被災し、休業が相次いだ。

主要な観光施設の被害状況について

市町村	施設名	被害状況	被災直後の営業方針等
米子市	米子水鳥公園	施設全体が傾くなど被害大 敷地が地盤沈下、陥没	年内休園 1/1から仮設建物で再開
	米子美術館	展示物の一部が破損	10/12から再開
	アジア博物館	展示物の一部が破損	通常営業
	山陰歴史館	展示物の一部が破損	10/12から再開
	米子コンベンションセンター	ホールの天井の一部が破損	通常営業
倉吉市	倉吉ふるさと物産館	内装の一部が破損	通常営業
	倉吉博物館	照明器具が落下	通常営業
	赤瓦	商品の一部が破損	通常営業
境港市	海とくらしの史料館	展示物の一部が破損	10/11から再開
	夢みなとタワー (みなとまち商店街)	展望タワーのガラス、構造材等が 破損、照明器具落下、内装の一部 が破損 展示物は亭屋が倒壊したほか、落 下等により破損	10/14から低層部のみ開館 (入館料無料) ※12/16全館営業再開
	みなと温泉館	建物周囲の地盤が沈下	10/18から営業再開
	境港さかなセンター	建物周囲の地盤が沈下	10/9から営業再開
	ピアガッセ	半壊	12/18から営業再開
	さかいポートサウナ	内装の一部が破損	10/10から営業再開
	大漁市場なかうら	建物周囲の地盤が沈下	10/9から営業再開
西伯町	祐生出会いの館	内装の一部が破損	11/1から営業再開
淀江町	淀江ゆめ温泉	内装の一部が破損	通常営業
	歴史民族資料館	展示物の一部が破損	〃
会見町	とっとり花回廊	展望回廊支柱取付部、ガラス手摺 などが損傷 外部舗装に亀裂	10/14から営業再開 (一部規制箇所あり)
日野町	滝山公園	便所、休憩所などを中心に被害大	H13末復旧予定
	金持神社	鳥居の一部崩壊	復旧済
溝口町	鬼ミュージアム	入口付近地盤沈下	4/28から営業再開
	おにっこランド	東屋が傾斜、遊具等の一部が損傷	10/18から営業再開
	榎水フィールドステーション	内装の一部が破損	10/16から観光案内のみ再開 12/20営業再開

(2) 宿泊施設

宿泊施設については、皆生温泉、大山などの旅館、ホテルで棚から食器が落下したり、内装材の一部が損傷を受けた程度で、全体的に被害の度合いは小さく、大半の施設が通常通りの営業を継続した。

しかし、直後からキャンセルが入り始め、その後も震度6強という地震でかなりの被害が出ているとの風評が流れたことや余震を敬遠してのキャンセルが相次いだ。

第11章 公共機関等の被害

第1節 通 信

1 西日本電信電話株式会社

通信ケーブル 震源地の日野郡内4箇所で崖崩れにより通信ケーブルが被災し、計125回線が不通。
故 障 家屋損傷などにより、利用者宅への電話引込線、宅内配線などの故障が約600件発生
電 柱 被 害 陥没 112本 傾斜 146本
交換所の被害 12ビル

2 ジェイフォン西日本株式会社

- ・ネットワーク設備に異常なし

3 NTTドコモ中国

- ・鳥取県内における被害はなし

(その他対応状況)

- ・西伯町災害対策本部に中国総合通信局(旧中国電気通信監理局)の依頼で携帯電話を20台貸出し
- ・鳥取県災害対策本部に携帯電話40台,衛星携帯電話10台貸出し
- ・携帯電話の通話を確保するため、鳥取県日野町内に臨時の可搬型携帯電話基地局を設置
(期間:10/12~12/24)

4 a u

- ・被害なし

第2節 電 力

中国電力株式会社

電気設備被害状況

(1) 対策本部設置状況

- ・平成12年10月6日(金) 13:30 災害対策準備本部設置(警戒体制)
- ・ “ 13:50 特別災害対策本部(特別非常態勢に変更)
- ・平成12年10月13日(金) 17:00 災害対策本部解除

(2) 被害状況

① 配電関係

停電回線数	6回線(旭、黒坂発電所引出配電線)
停電戸数	約9,300戸(日野町、日南町、溝口町、江府町、岸本町)
電柱折損	4本
電柱傾斜	411本
電線断線	4径間
電線混線	22径間
変圧器傾斜	114台
支線断線、緩み	53条
引込線断線	40条
引込線支持点外れ	391件
計器脱落	9台
腕金脱落、傾斜	11本

② 電力関係

[水力発電所]

地震直後に黒坂発電所他3箇所が発電を停止した。特に黒坂発電所は、水圧鉄管の固定台・小支台の変位で水圧鉄管路のズレ等の被害を受け、抜本的な復旧が必要となり直ちに運転を再開できない状況となった。

[変電所]

日野変電所他1箇所の変電所で設備被害を受けた。特に日野変電所では500/220kV主要変圧器2台のうち1台が絶縁碍管破損等の被害を受け、運転できない状態となった。

[送電線路]

鉄塔敷地の地割れ、鉄塔基礎の一部損傷等の損傷があったが、鉄塔が倒壊するような被害はなかった。

第3節 ガ ス

1 米子ガス

地震発生後直ちに災害対策本部を設置した。

○ガス導管の被害状況

本支管：3カ所 供給管：3カ所 内管：29カ所

地震発生後直ちに広報車により「ガス漏洩及び使用」に関する広報を行い、「ガス漏れ通報」「災害特別出動」等の体制を整備した。

地震発生直後より主要幹線の巡回点検を実施し、その後、他のガス事業者の応援も得て全区域のガス導管漏洩調査を実施、安全を確認した。(約240km)

ガス導管の修繕は関連会社等を総動員して修理にあたった結果、応急措置も含めて10月8日には、ほぼ完了した。

集合住宅のガス管漏洩調査を10月10日より開始し、10月19日に完了した。(約240棟)

10月10日、災害救助法の適用に伴い災害特別措置を申請、即日認可を受け、米子市及び報道機関にて広報した。

2 鳥取県エルピーガス協会

(1) 概況

地震発生と同時に、協会が定めた「鳥取県LPガス災害対策要綱」に従って、協会本部に、「災害対策本部」、西部支部に「現地対策本部」を設置し、LPガス災害対策支部マニュアル、同対策スケジュールの定めにより、各会員は消費先の供給・消費設備の点検を行い、保安の確保と二次災害の防止に努めるとともに、LPガスの臨時及び仮設設備に対し供給を行った。

(2) 被害の状況

供給設備（容器からLPガスマーターまで）の被害件数 32件

消費設備（LPガスマーターから消費器具まで）の被害件数 37件

ガスマーターの遮断件数 5,345件

被害を被った販売事業者数 53事業所

供給事業者所在郡市別被害状況

(件)

都市別	供給設備	消費設備	ガスメータ遮断	被害事業者数
鳥取市	—	—	71	—
岩美郡	—	—	28	—
八頭郡	—	—	19	—
気高町	—	—	—	—
倉吉市	—	—	320	—
東伯郡	2	—	331	—
米子市	17	10	2,750	18
境港市	3	7	728	15
西伯郡	8	4	612	5
日野郡	2	16	486	15
計	32	37	5,345	53

(3) LPガスの臨時及び仮設設備への供給状況

○鳥取県からの依頼に対する供給

日野町役場関係 山村開発センター 容器20kg×10本
 日野病院 容器20kg×3本 三重コンロ3台
 日野レストラン 容器50kg×2本
 仮設住宅 容器5kg、8kg、10kg、20kg、50kgなど計44本

○協会会員の消費者への暫定的供給

容器 2kg×2本、5kg×2本、8kg×13本、10kg×4本、20kg×103本、50kg×29本
 調整器 15個
 低圧ホース 15本
 ガス給湯器 29台
 ガステーブル 14台
 コンロ 23台
 風呂釜 11台
 業務用レンジ 4台

(4) 安全宣言

協会が定めた「鳥取県LPガス災害対策要綱」第6章第12条に基づいて、平成12年11月2日午後3時、災害発生後の措置が完了したことを認め、鳥取県生活環境部消防課と協議のうえ対策本部等を解散した。

第4節 交 通

○航空機

米子空港

1 被災状況

- ・滑走路横断方向に4箇所のクラック（幅1cmで、2cm程度の段差）
- ・滑走路縦断方向に延長100～200m程度のクラック
- ・滑走路端部及び誘導路に液状化による路面変状
- ・その他多数のクラック発生
- ・無線誘導施設（ローライザー）の停止
- ・進入誘導灯（アプローチライト）2基傾斜

2 運航状況

平成12年10月6日(金)

13:51 滑走路がクローズ（閉鎖）

14:20 羽田空港発（13:15）米子空港着（14:25）の便が鳥取空港にダイバード（代替空港への緊急避難）

羽田空港発米子空港着の4便は鳥取空港の臨時便に振り替え

平成12年10月7日(土)～10日(火)

鳥取空港～羽田空港間を臨時便4便を合わせて7便体制で運航

平成12年10月10日(火)

15:01 滑走路がオープン

平成12年10月11日(水)

羽田空港発（7:15）米子空港着（8:30）より運航再開

○鉄 道

西日本旅客鉄道株式会社

地震発生後、米子支社管内において、合計32本の列車が運転を停止し、そのうち山陰本線と境線は6日夜間に運転を再開したが、伯備線の運転再開は4日後の10月10日となった。

その後も土砂流入による部分運休があり、完全な運行再開は1か月余り後の11月17日であった。

1 主な運休状況等

月 日	時 刻	経 過 等
10月6日	13:30	鳥取県西部地震発生、米子支社内列車運転停止（山陰本線、伯備線等、列車合計32本）、列車状況確認
	13:40	米子支社災害対策本部、現地対策本部（根雨）設置 被害状況調査及び被害箇所修復開始 （20:49山陰本線全線、23:48境線運転再開 伯備線は全列車運転休止）
10月7日	12:04	余震発生（震度5）米子支社内全列車運転停止、列車状況確認、線路状況等点検（12:20山陰本線（赤碕・荒島間除く）、15:44境線、17:13山陰本線全線運転再開）
10月8日 ～9日		「はくと」、「はまかぜ」、「いなば」増結、増発、運転区間延長（山陰地域と山陽、京阪神地域間の輸送の確保）
10月9日	9:00	JR米子支社災害情報センター設置（利用者への情報提供、御案内）
	18:00	伯備線を10月10日13:00を目途に運転再開することを決定
	21:51	安全確認試運転列車の運転
10月10日	7:13	伯備線被災箇所上空から調査（ヘリコプターによる調査）、修復状況等最終点検
	13:29	伯備線全線運転再開
	21:58	余震発生（震度5弱）山陰本線（赤碕～荒島）、境線、伯備線で全列車停止、線路状況等点検
10月11日		山陰本線、境線始発列車から運転再開
	11:58	伯備線全線運転再開
10月28日	16:22	伯備線根雨～黒坂間土砂流入発生、全列車運転停止
	19:24	“ 大規模な崩壊発生
10月29日 ～ 11月16日		「やくも」部分運転（出雲市～根雨間、生山～岡山間運転） 「サンライズ出雲」部分運転（東京～生山間、根雨～出雲市間運転） ※生山～根雨間代替バス運行 JR米子支社災害情報センター再設置（11/2～）
11月17日	3:25	復旧作業終了、安全確認試運転列車運転、復旧状況最終点検
	6:02	伯備線全線運転再開

2 被災状況及び復旧人員等

(1) 10月6日の地震

① 被災件数

線 区	土 木	軌 道	電 気	建 築	機 械	合 計
伯 備 線	44	52	75	21	2	194
山陰本線	5	4	23	29	1	62
境 線	1		3	19		23
木次線	1		2			3
合 計	51	56	103	69	3	282

※ 伯備線根雨～黒坂（7.6km）間に125箇所の被害

② 復旧人員等（10月6日～11日）

・復旧作業	3,813名
・バス代替・案内	115名
・車両検査等	67名
・その他	378名
合 計	4,373名

(2) 10月28日の土砂崩壊

① 復旧内容

・崩壊土砂量	1,700m ³
・土砂撤去面積	4,415m ²
・土砂撤去量	30,000m ³
・土留柵設置	長さ90m×高さ6m

② 復旧人員等（10月28日～11月17日）

・復旧作業	1,580名
・バス代替・案内	728名
・車両検査等	16名
・その他	660名
合 計	2,984名

3 被害額

・復旧費	20億円
・減収（10/6～11/16）	5億円
合 計	25億円

○バス

1 日本交通株式会社

米子営業所ビルに多大な被害、損害を受けたが、バスの運行状況には異常はなかった。

2 日ノ丸自動車株式会社

(一般路線)

江府町、溝口町、日野町内の路線で被害が大きく、大河原線、柿原線、板井原線、奥渡線、門谷線の計5路線で運休、米沢線で途中折り返し運行、二部線、日光線で迂回運行を余儀なくされた。また西伯町、岸本町、日南町内でも一部区間不通による折り返し運行、迂回運行を行った。

被害は地震発生当日のみにとどまらず、後日の余震、降雨によって道路状況が悪化したため、根雨～生山線、賀野線等で迂回運行、折り返し運行を行った。

(高速バス路線)

米子自動車道、国道180号、181号とも10月6日はすべて不通になったため、東京線、福岡線、広島線は迂回運行をし、岡山線については共同運行会社担当便も含め、6日午後の4便をすべて運休した。

路線名	10月6日の状況	10月7日以降の状況
境	JR境線跨線橋通行止のため米子空港經由便は財ノ木地内迂回運行	復旧
八郷	ガーデンプレイス～小林間通行不能のため折り返し運行	復旧
二部	宇代地内落石のため通行止め。荘経由で迂回運行	11/4復旧
日光	富江地内崖崩れ、大坂地内道路半壊のため農面道路経由で迂回運行	10/20復旧
米沢	御机～鏡ヶ成間通行不可のため運休	10/8復旧
大河原	江尾～袋河原間道路損壊のため通行止め、運休	10/7～9の間運休。10/10より新しい橋を經由して迂回運行。
柿原	道路半壊のため通行止め。運休	10/10復旧
板井原	根雨地内富士見橋通行止め。運休	復旧
奥瀬	根雨地内富士見橋通行止め。運休	復旧。10/9～10/13の間小川尻～奥瀬間道路損壊のため小川尻で折り返し運行。
門谷	根雨地内富士見橋通行止め。運休	復旧
根雨～生山	根雨地内富士見橋通行止めのため日野中学校で折り返し運行	10/8～14の間下菅地内土砂崩れのため根雨～真住～農面道～滝山入口～R180～生山の経路で迂回運行
根雨	根雨地内富士見橋通行止めのため根雨駅～根雨間休止。根雨駅で折り返し運行	復旧
印賀	本山橋通行止めのため茶屋、矢戸経由で迂回運行	復旧
福栄		10/7～8の間養護老人ホーム～原公会堂間通行不能のためバイパス経由で迂回運行
賀野		10/10～13の間市山下～市山農協間通行止め。バイパス経由で迂回運行
上長田	三本木橋通行止めのため法勝寺～大木屋間運休	10/7賀祥ダム付近で段差、陥没発生。通行止めのため法勝寺～大木屋間運休。10/8 12時まで
米子空港	航空便欠航のため運休	10/11から平常運行
ウィンズ米子		10/7～8ウィンズ休業のため運休
花回廊		10/13まで花回廊休園のため運休
高速米子～広島	R180、R181通行不可、中国道北房JCT～三次IC間閉鎖のためR54経由で迂回運行	10/7～8日12時まで法勝寺経由を根雨経由で迂回運行。 10/8～14の間下菅地内土砂崩れのため根雨～真住～農面道～滝山入口～R180～生山の経路で迂回運行
高速東京	米子道閉鎖のため国道9号、鳥取経由で迂回運行	復旧
高速福岡	米子道閉鎖のため、国道9号、54号、三次IC、中国道経由で迂回運行	復旧
高速岡山	米子道閉鎖のため午後全便運休	復旧。JR伯備線運休のため10/7～11の間に続行便30便運行